

# わだいの特選

wadai-no tokusen CAMERA REPORT



## 『毛呂山小学校の車椅子贈呈式』 プルタブが車椅子に変身！

3月18日、毛呂山小学校から社会福祉協議会へ、車椅子1台が贈られました。この車椅子は、毛呂山小学校が平成20年度から3年間かけて集めた空缶のプルタブを換金し、購入したものです。多くの人の協力により、429キログラムを超える量のプルタブが集まりました。人のために出来ることがあるということを生徒の皆さん。今後は、ペットボトルのキャップを集め、ワクチン提供に役立てる活動を実施していきます。



## 『手づくり絵本教室』 本づくりにチャレンジ！

3月6日から4回にわたり、図書館で『手づくり絵本教室』が行われました。およそ10人が参加し、グラフィックデザイナーの高垣美和子たかがきみわこさんから絵本の作り方を教わりました。参加した人たちは、自分で考えたお話をもとに、紙や色鉛筆などの身近な材料を使って絵を描き、本に仕上げました。初めての作業にも根気よく取り組み、少しずつ完成に近づいていく工程を楽しんでいました。オリジナリティーあふれる作品が出来上がり、子どもも大人も、世界にひとつだけの絵本を手にした嬉しそうにしました。



## 始まっています 地域内交流！



参加者に大好評だった昨年の敬老会の様子

そこで第一団地は、年に1回敬老の日にあわせて、全地区連合で大規模な「敬老会」を催している。対象者は実に300人もいるという。参

加者には弁当と記念品を、不参加者には記念品を出している。「この方法であれば、参加できる人と参加できない人との公平性が、多少なりとも図れると思うんです」と第一団地の古澤連合区長は語ってくれた。実際、参加者も不参加の人も喜んでくれているという。「団地全体で敬老会を開くと、今まで各地区のサロンに参加しなかった人が出てくれたりするんですよ。そういった人から久しぶりに友達に会えてよかったなどの意見をいただく」と主催した方も嬉しくなります」と笑顔で語ってくれた。

多くの人を対象にすることで多くの参加者を募る！  
「第一団地・敬老会」(連合いきいきサロン)

第一団地は、細分化される6地区に分かれており、そのことによって配布物が早く回覧されるなどの利点がある。しかしながら、その枠だけにとらわれず、高齢者に対する対策などを第一団地という広い視点でとらえ、地域の諸問題を考えている地区でもある。

今後は、この取組を起点にして、「見守りネットワーク」を構築していく予定であるという。また、地区割りにとられず隣近所が声を掛け合える団地へと、少しずつ変えていきたいと考えているそうだ。